

# 白馬

はくば

# 議会だより

# 117号



快挙、白馬中男子バレー部 県大会出場!! 1979年以来37年ぶりか…

県大会出場が決まった瞬間



## ■ 村政を問う 一般質問 …………… 6

- ・ 暖冬時における経済対策は
- ・ 環境基本条例制定の経緯・背景は
- ・ 水道施設の耐震化は
- ・ 事務事業評価結果の改善は
- ・ 白馬高校の学生寮の整備予定は
- ・ 「きこりの道」現状と活用は
- ・ 障がい者の方への就労支援策は
- ・ 観光局長から事務局長になった理由は
- ・ 民泊の実態把握と衛生管理等の指導は

## ■ 白馬高校支援3221万円の増額補正 …… 1

## ■ 天狗山荘トイレ改修延期で減額補正 …… 3

## ■ TPPに関する陳情を全員賛成で採択 …… 4

## ■ 朝日町との議員連絡協議会 …………… 16

## ■ 夢・私たちに

## わたしのひとこと …………… 17

表紙写真説明は16ページに

## 一般会計

# 925万7千円 を追加

## 6月定例会

### 6月定例会のポイント

第2回定例会は会計年度が改まって最初の議会です。定例会は年で数えますので第2回ですが、村の予算的には第1回目の定例会です。

6月定例会には多くの専決処分報告が提出されます。これは会計年度の終わり、すなわち3月31日に国の法律改正が交付されて、同日で条例改正したものや、3月31日で会計年度が終わるため、決算見込みにより予算の不用額などを整理した補正予算などを、同日で村長が条例に従い専決したものです。これらを定例会で村長が議会に報告し承認を受けます。

また、平成28年度第1号補正予算は、人事異動に伴う人件費の組み換え、白馬高校支援事業、山岳観光施設維持補修事業(天狗山荘補修)を翌年に延期するための減額、4月の豪雨災害に伴う現年発生公共土木施設災害復旧事業などの補正を行っています。

### 定例会で審議された件数

意見書の提出	2件	報告	2件
請願・陳情の審査	6件	承認	10件
物品の取得	1件	工事変更請負契約の締結	2件
工事委託に関する協定の締結	1件	土地の取得	1件
補正予算	3件	条例の一部改正	3件
工事委託に関する協定の締結	1件		

### 白馬高校支援事業に

### 3221万円の増額補正

### 総務社会委員会

理に関する条例の一部を改正する条例について。

### ●白馬村特別職の職員で非常勤

のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例の総務社会委員会所管事項について。

学校給食施設検討委員を学校給食施設建設委員に名称を改めるもの。

委員の任期は。

### 問答

平成28年5月16日から平成31年度共用開始まで。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬高等学校校寮の設置及び管

白馬高校支援事業を総務課から教育課へ移行したため条例の字句を変更するもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成28年度白馬村一般会計補正予算(第1号)所管事項について。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ925万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出予算それぞれ65億4125万7千円とするもの。各課それぞれ4月の人事異動による調整額。

◎総務課関係

北アルプス連

携自立圏事業(総務)に125万

4千円の減額。

国の加速化交付金の内示があつたので財源の組み替え。

防災事業に120万円の増額は耐震改修事業補助金として2件の申請分。

◎健康福祉課関係

北アルプス連

携自立圏事業(民生)に101

万6千円の減額。

国の加速化交付金の内示があつたので、財源の組み替え。



英語での接客という新しい挑戦に、村民の思い「白馬の即戦力」への期待がかかる国際観光科生徒によるランゲージ・カフェ(白馬高校文化祭)



# 白馬高校寮 維持管理事業など

## 総務社会

### ◎教育委員会 教育課関係

文化財保護事業補助金として、八方蒲池の木道補修事業に100万円の増額。

白馬高校支援事業に3224万3千円の増額。白馬高校寮の維持管理事業で生徒の賄材料費、舎監・ハウスマスター等の人件費、寮運営のマネジメント委託費が主なもの。

**問** 募集計画をしっかりと学校と協議し、規模と予算をたて方向性を示してもらいたい。

**答** 地域高校として国際観光科を開設したが、見切り発車したところもあり、課題を今後早急に両村で調整し最善を尽くしていきたい。ふるさと応援基金も白馬高校支援に充当していく。

**問** 多数の卒業生がおられるので、寮の設置に、ぜひ同窓会にお願いし寄付を募ればいかがか。

**答** 同窓会にもぜひ協力していただきたいと思ったい。引き続き支援を願ったい。

◎教育委員会 スポーツ課関係  
白馬村スキークラブ補助金として215万円の増額。ふるさと

と納税基金への納税者の意思に従い、アルペン選手強化育成に補助するもの。国民体育大会開催事業に21万7千円の増額。国体開催にむけて無料貸与された車両1台分の経費。ウイング21維持管理事業に52万8千円の増額。雪害によるウイング21西側屋根の修繕費。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●年金積立金の安全かつ効率的な運用に関する意見書の採択を求める陳情

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●「緊急事態基本法」の早期制定を要望する意見書提出を求める陳情

【反対討論】  
すべての権限を二人に集中させることは危険であり反対。

【意見】  
手に負えない災害には、国がしっかりと対応するために緊急事態基本法は必要だが、有事の範囲が曖昧であるので、趣旨採択。

▽委員多数の賛成により趣旨採択すべきものと決定。

●国に対し消費税率10%への増税中止を求める陳情書

### 【反対討論】

再増税は延期とされておられ、中止するかは今後を見据えていかなければならないと考えるので反対。

### 【賛成討論】

社会保障と財政再建は消費税

に頼らず、法人税など大企業優遇を見直し、消費税増税は中止すべきであり賛成。

▽委員少数の賛成により不採択すべきものと決定。



世界で輝け、長野銀嶺国体で輝け、白馬の星たち！！  
平成28年度スポーツ功労賞ほか授与式(6月24日)

# 産業経済

## 復興村営住宅建設用地

### 取得契約に1630万円

#### 産業経済委員会

●工事変更請負契約の締結について

平成27年度26災公共土木施設災害復旧工事（村道1062号水神宮橋）において、姫川建設（株）を相手側とし、契約額9396万円に810万円を増額、1億206万円に変更契約をするもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●工事変更請負契約の締結について

平成27年度26災公共土木施設災害復旧工事（村道3014号大出付近）において、（株）落田を相手側とし、契約額4968万円に881万2800円を増額、5849万2800円に変更契約をするもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●土地の取得について

震災復興村営住宅建設のため

の土地の取得をする契約で、取得金額は、堀之内西団地 1187万7290円、三日市場団地 442万8000円。

#### 問

面積、単価は。

#### 答

堀之内は2419㎡で単価4910円、三日市場は1107㎡で単価4000円。不動産鑑定士により金額を決定した。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村特別職の職員で非常勤

のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例について  
鳥獣被害対策実施隊員の金額を日額2000円から3000円に改めるもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●白馬村村営住宅管理条例の一部を改正する条例について

震災被災者が入居できる項目を追加しているもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●平成28年度白馬村一般会計補正予算（第1号）所管事項について

◎農政課関係  
大北農業振興協議会負担金等

15万円の増額は、姫川漁協陳情採択に伴うもの。過年発生農地農業用施設災害（単独）324万円の増額は、立の間地籍整備によるもの。

◎建設課関係

現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助）1650万円の増額は、菅（村道3033号）地区。現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独）2054万円の増額は、岩岳赤沢（3102号）の工事。

◎観光課関係

施設管理委託料108万円の増額は、遠見尾根登山道整備として。工事請負費4974万4千円の減額は、天狗山荘のトイレ改修工事を翌年度に延期することに伴うもの。

#### 問

天狗山荘トイレ改修減額

#### 答

は、予算計上が甘すぎたのでは。  
工事費の精査・見積もりを取るなど、設計業者に頼らずしっかりと調整していきたい。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成28年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ104万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億5620万8千円とするもの。人件費36万円の減額、管梁維持管理事業140万円の増額はマンホールの修繕費。

マンホール工事の場所は。

堀之内、白沢地区等で23基分。

#### 問

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成28年度白馬村水道事業会計補正予算（第1号）

営業費用147万円は人事異動と人件費の増額、職員給与125万2千円の増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●PPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求めるもの

今回の陳情は十分な情報開示と

意見



育て！大地に根ざした起業家精神  
あぐりスクール開校(6月4日)

明確な説明を求めたもので、反対するものではない。

意見

地方の農業団体は同じような考えを持っているものと思っ。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●継続審査 平成27年陳情第13号 最低制限価格の設定に関する陳情書

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●継続審査 平成27年陳情第14号 国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

● 6 月 定 例 会 議 決 結 果 ●

議 決 結 果

件 名	議決結果
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 賛成：全員
白馬村税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
白馬村保育料条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	
平成 27 年度白馬村一般会計補正予算（第 10 号）の専決処分報告について	
平成 27 年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 3 号）の専決処分報告について	
平成 27 年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）の専決処分報告について	
平成 27 年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）の専決処分報告について	
平成 27 年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）の専決処分報告について	
平成 27 年度白馬村水道事業会計補正予算（第 4 号）の専決処分報告について	
工事変更請負契約の締結について（2 件）	可決 賛成：全員
土地の取得について	
白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬高等学校寮の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬村営住宅管理条例の一部を改正する条例について	
平成 28 年度白馬村一般会計補正予算（第 1 号）	
平成 28 年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	
平成 28 年度白馬村水道事業会計補正予算（第 1 号）	
追加議案	
工事委託に関する協定の締結について	可決 賛成：全員
物品の取得について	
議員発議	
年金積立金の安全かつ効率的な運用に関する意見書	可決 賛成：全員
TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める意見書	

● 陳 情 等 文 書 ●

提出者	住所	要 旨	付託委員会	審査結果
全日本年金者組合長野県大北支部 支部長 井川恵右	松川村	年金積立金の安全かつ効率的な運用に関する意見書の採択を求める陳情	総務社会委員会	採択 賛成：全員
アジアと日本の平和と安全を守る長野県 中南信フォーラム 事務局長 林 秀彦	松本市	「緊急事態基本法」の早期制定を要望する意見書提出を求める陳情		趣旨採択 反対：加藤・伊藤
長野県 北アルプス民主商工会 会長 種山博茂	大町市	国に対し、消費税率10%への増税中止を求める陳情書		不採択 賛成：加藤・伊藤
一般社団法人 長野県建築士事務所 協会 会長 池田 修平 一般社団法人 長野県建築士事務所 協会 大北支部 支部長 吉川 馨	長野市 大町市	最低制限価格の設定に関する陳情書	産業経済委員会	採択 賛成：全員
一般社団法人 長野県建築士事務所 協会 会長 池田 修平 一般社団法人 長野県建築士事務所 協会 大北支部 支部長 吉川 馨	長野市 大町市	国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書		採択 賛成：全員
大北農業協同組合 代表理事組合長 山田高司	大町市	TPPに関する情報開示の徹底と持続可能な農業経営の実現に向けた農業政策の確立を求める陳情書		採択 賛成：全員



## ●緊急事態基本法の早期制定を要望する意見書提出

反 対

## 【加藤亮輔議員】

東日本大震災の対応に支障が生じたから基本法が必要との事だが、被災地3知事39市町村長アンケートでは、39首長が支障なしと回答。

緊急事態条項とは、大災害や紛争の際、閣議決定すれば国会審議なしで首相の権限を強化できる条項。一人に絶対的権力を与える事の方が、ヒトラーの独裁の例のごとく非常に危険。

賛 成

## 【松本喜美人議員】

わが国を取り巻く国際情勢も大きく変化し、これらに起因する不測の事態など、自然災害以外にも国民の生命、財産、安全を脅かす事態が起きかねない状況が今後想定されるとしての「緊急事態基本法」を制定するという趣旨に賛成できるが、有事の定義が明確に示されていない状況にあっては、趣旨採択が妥当。

## ●消費税率10%への増税中止

反 対

## 【太田正治議員】

人口減少や少子高齢化は、働く世代と税収の減少、年金などの社会保障費の増大を招き、将来の社会を支える世代に過度な負担が生じる。公共的な社会基盤維持に必要な財源として、消費税の果たす役割は大きく、将来世代だけに負担を強いてはいけない。

賛 成

## 【伊藤まゆみ議員】

8%への引き上げで実質賃金は5年連続、GDPの6割を占める個人消費は2年連続でマイナス。大企業に4兆円も減税するも賃金は伸びず、内部留保は急増。アベノミクスによる富は循環されず、格差ばかりが拡大。子供の貧困率は過去最悪。弱者いじめの増税は中止すべき。

## 平成28年第2回臨時会

去る4月27日に開催し、平成29年冬季国体に向けたジャンプ競技場施設改修工事など4件を議決しました。

## ●庁舎・多目的研修会施設の耐震補強工事請負契約

契約相手 株式会社アスピーア  
契約金額 1億1880万円

## ●ジャンプ競技場ノーマルヒル改修工事請負契約

契約相手 北野建設株式会社  
契約金額 2億6028万円  
工事内容 インランクーリングシステム、スタートゲート改修など。

## ●ジャンプ競技場ノーマルヒル電気設備改修工事請負契約

契約相手 丸登電業株式会社  
契約金額 7597万8千円  
工事内容 選手画像記録システム、場内CATV、放送設備など。

## ●ジャンプ競技場競技処理システム改修工事請負契約

契約相手 アートブレインインターナショナル  
契約金額 5346万円  
工事内容 スピード計測、風向風速、リザルトシステムなど。



長野銀嶺国体を待つジャンプ競技場  
(朝日町との連絡協議会で視察)

# 一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

## 安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

### 質問内容

- ・暖冬時における経済対策は
- ・環境基本条例制定の経緯・背景は
- ・水道施設の耐震化は
- ・事務事業評価結果の改善は
- ・白馬高校の学生寮の整備予定は
- ・「きこりの道」現状と活用は
- ・障がい者の方への就労支援策は
- ・観光局長から事務局長になった理由は
- ・民泊の実態把握と衛生管理等の指導は



一糸乱れぬ吹奏をめざして 白馬村消防団ラッパ隊



音楽会の目玉、全校合唱 白馬南小学校

# 問 暖冬時における経済対策は

## 答 索道・宿泊・商工業者と今後検討



松本喜美人議員

【寡雪(雪不足)時対応と暖冬対策について】

**問** 除雪業者への支払総額と例年対比は。

**村長** 平成27年度の除雪費は1億2352万円で、過去10年間の平均除雪費は1億6549万円で、例年より4000万円ほど少なめでした。

**問** 除雪業者への寡雪時対応は。

**村長** 除雪業者より、稼働時間が少なくて除雪機械の車検、点検整備費の捻出ができないとの意見が寄せられています。長野県では、機械管理費を年間の固定費で支払いがされていますので、近隣市町村の動向を見ながら現在検討しています。

**問** 観光関連業者の被害状況と、寡雪対策と効果は。

**村長** 被害状況は、商工会、索道各社、各観光協会に聞き取り調査を行い把握に努めました。回答施設が約60軒のため、村全体の把握には至りませんでした。村では、1000万円の補正を組み観光局を通じて、3社のネットエージェントを活用した誘客に努め、3社の流通金額1億8900万円、対前年比120.8%、宿泊人数1万6318人、対前年比123.8%で白馬エリアでは、金額人数ともに前年を上回りました。

**問** 暖冬対策の必要の有無と対策は。

**村長** 寡雪対策の検討過程で、人工降雪機稼働経費の助成や、融資の利子補給の要望がありましたので、索道、宿泊、商工業者等との意見交換の場を設け検討を進めたい。

【各種事業推進に伴う不動産の取得について】

**問** 土地取得単価の基本姿勢は、実勢地価と基準地価のいずれを重視か。

**村長** 復興村営住宅は、実勢地価と基準地価のいずれを重視するのではなく、不動産鑑定士に鑑定を依頼し、単価を算出しました。

**問** 契約に至るまでの流れは。

**村長** 地権者と用地交渉を行い、昨年度中に合意を得て「公有地拡大の推進に関する法律に基づく協議」や「譲渡所得の特例控除に関する協議」また、社会資本整備交付金の申請手続きが整備後に、契約に至りました。

**問** 2カ所の民有地買上げ単価と地目は。

**建設課長** 田と畑で1㎡当たり4910円、雑種地で1㎡当たり4000円です。

**問** 神城奈良井地区の整備事業では、農地の買上げ単価は1㎡当たり820円。今回は同じ農地が4910円で、雑種地は宅地に準ずる固定資産税を納税しており、農地より安い4000円で村民理解が得られないのでは。

不動産鑑定士の業務は、不動産鑑定評価基準で規定されており、当該不動産は鑑定分析の結果、最有効使用の判定において、分譲住宅用地と判定され、「取引事例比較法」と「地価調査基準地価格」により、標準価格を求めました。

【行政視察等に対するビジネス対応について】

**問** 昨年度の白馬村への視察件数と人数、及び傾向は。

**村長** 61件で1315名が来村、震災対応等の視察が多く例年より増加しています。

**問** 県内・県外別の内訳は。



造成工事が進む復興住宅用地

**村長** 県内26件496名、県外35件819名です。

**問** 村内への宿泊状況は。

**村長** 村内宿泊は8件で67名、延べ宿泊数は110泊です。

**問** 庁内の取組み状況は。

**村長** 視察の目的により主管課が直接受けしており、宿泊の希望や問合せがあれば観光局につなぎます。



# 問 環境基本条例制定の経緯・背景は

# 答 環境軽視では行政運営が成り立たない



伊藤まゆみ議員

【環境・景観について】

**問** 開発基本条例を見直し、環境基本条例を制定するに至った経緯、背景は。

**村長** オリンピックを契機とした環境問題への関心が高まる中、美しい自然環境を有する当村でも、環境問題を軽視しては今後の行政運営が成り立たないこと。滑降競技において、八方尾根のスタート問題についても大きな関心が寄せられるなどし、条例に取り組むことが最善と認識したため。

**問** 昨年6月議会一般質問の答弁中の「優良な開発計画や施設投資計画」とは。

**村長** 条例・規則・指導基準を遵守すること。行政区を

中心に良好な生活環境の保全と創造、地域の活性化、生活環境・田園景観との調和。最終的には安定した雇用の創出が目標と考える。

**問** 条例があるので我慢する、村に協力していくという形を取ってきた住民もいる。16年が経過し、状況が変わったから条例を変えるというのであれば、そういう住民にどう説明するつもりか。

**副村長** 環境基本条例はある一定の条件をクリアした場合、構築物を作ってもいいとなっており、開発基本条例よりはゆるくなっている。そのあたりを理解してほしい。

**問** 審議会は「環境の保全及び景観の形成に関して、基本的事項を調査、審議すること」が目的であるが、利害関係者が委員である場合、客観的な審議が可能か。

**村長** 直接的に利害関係があるかと認められる場合、審議から外れてもらう。

【観光施策・観光局について】

**問** 今回観光局は新しい局長を迎えることになったが、どのような観光施策、方向性が期待できるか。

**村長** 局の改革、観光関係の正確な数値の把握、インバウンドの通年化、社員の増加、マーケティング、振興公社との連携、春秋の商品開発など、期待するところはとても大きい。

**問** 観光地経営計画の策定委員が「毎回同じことをやっている」と述べていた。しかし今回は違うというので議会も予算を承認している。

**村長** いろいろなかの意見を聞くという点。経営の視点を取り入れ、計画を実行に移すプロセスまで加味している。また、今後10年の第5次総合計画に落とし込んでいくために練り直したものである。

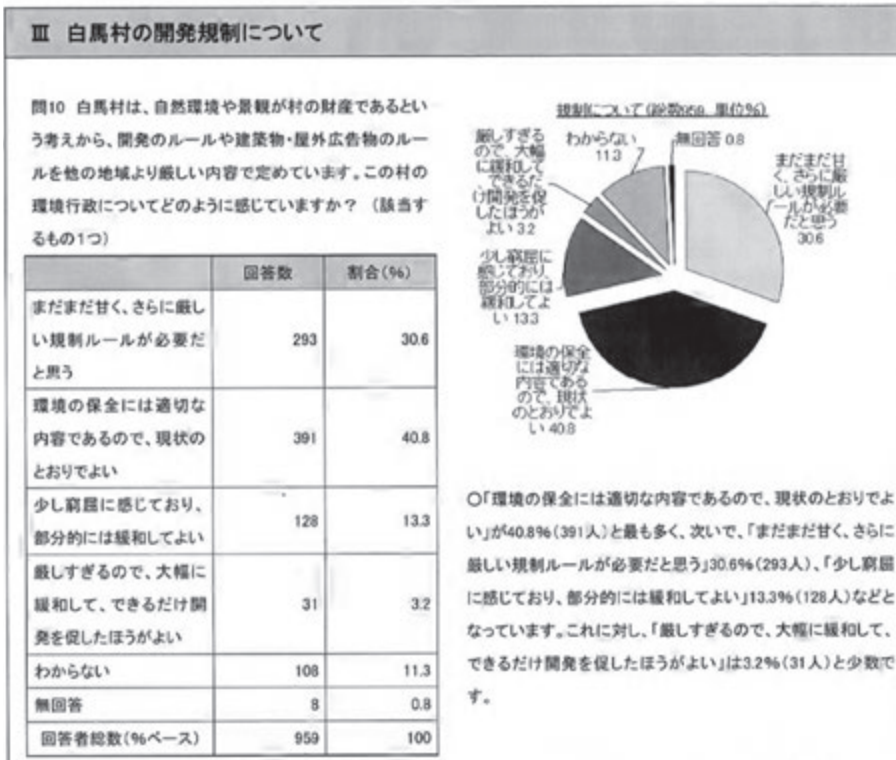
**村長** いろいろなかの意見を聞くという点。経営の視点を取り入れ、計画を実行に移すプロセスまで加味している。また、今後10年の第5次総合計画に落とし込んでいくために練り直したものである。

**課長** 計画を実行に移すプロセスまで加味している。また、今後10年の第5次総合計画に落とし込んでいくために練り直したものである。

【財源について】

**問** 3月議会で可決された議員・特別職の報酬、職員との給与の増額分、416万円の財源は。

**村長** 基本的には一般財源。地方交付税の算定の中に給与に要する経費も含まれている。



誰のために規制緩和が必要なのか

緩和を望むのはたった3.2% (第5次総合計画策定アンケート)

# 問 水道施設の耐震化は

# 答 「アセットマネジメント調査」を実施



田中榮一議員

## 【水道事業について】

**問** 水道事業運営を持続していくために「白馬村水道事業ビジョン」を策定した。その中で、安心して水道を使用していたくために多くの課題が示されているが、対応は。

**村長** 更新計画を策定するうえでの資料とする「アセットマネジメント調査」を実施します。この調査は、水道資産の健全性の評価、及び更新需要の把握、施設更新の重要性度・優先度、耐震化を優先した場合の推測、更新に要する財源とのバランスなど、様々なケースを検討するものです。

**問** 管路の布設替えは急務とされているが、管路図はできていますか。

**村長** 村内を3分冊した「上水道台帳」を整備しています。管路の種類、図面の区域番号管の種類などを掲載しており、管路等の新設、更新があった場合はその年度内に台帳の修正をしています。

**問** 工事には多額の財源が必要だが、見通しは。

**村長** 老朽管対策として生活基盤耐震化交付金があり、管路の更新に要する費用は、起債を含む自主財源のみとなります。

**問** 水道事業の継続には、若手技術者確保・育成が重要と思われるが。

**村長** 今年度、後継者とするべく職員を採用し、「水道技術管理者」の資格を取得させ、有資格者の職員が在職中に全ての知識を引き継げるように、人員配置をしました。

**問** 【子育て支援について】「子ども・子育て支援新制度」がスタートし1年

が経過した。新制度では、一番身近な市町村が主体となって、地域のニーズにあった施策を行うことになっていったが、どう取り組んで来たのか。

**村長** 平成27年度から保育園の3歳児未満の定員数を4名増として、34名としました。新制度の施行により入園基準の緩和や、地域の特性上、夏季と冬季の3歳未満児の入園希望が多いことから、白馬幼稚園と協議する中で、満3歳児になる児童受け入れをしていただきました。放課後児童クラブについては、対象学年枠を撤廃し、小学6年生までを受け入れとしています。

**問** 現在の状況と課題は。

**村長** 3歳児未満の受け入れは定員を増やして対応しているが、希望が多く保育士の確保に苦慮しています。病児・病後児保育事業については、大北管内の市町村と意見交換をしながら検討していきます。

**問** 【白馬高校について】

地域振興という考えから白馬高校支援事業を進めてきたが、担当が総務課から教育委員会に変わった理由は。

**村長** 平成21年7月に「子ども・若者育成支援推進法」が成立したことに鑑み、総合的な施策が必要と思っており、慣性



災害に強く、いつでも安心して飲める水道事業が求められています。

(老朽化している源太郎水源池)

訂正：4月30日発行の116号写真説明で「8時10分の始業」としましたが、実際の始業時刻は8時15分です。

のある自治体の姿勢こそが教育であると考えていることから、教育委員会教育課へ変えたものです。関連する地域振興については総務課に残しており、白馬高校の魅力を日本中に発信することが、ひいては白馬のブランドを高めるといふ最高の地域振興になると思っています。



# 問 事務事業評価結果の改善は

# 答 予算編成に反映する方式に



太田修議員

【第5次総合計画の策定と村長施策について】

**問** 総合計画策定と村長公約を含めた事業の優先順位は。

**村長** 総合計画は、地方自治の計画の基本であり、地域づくりの最上位に位置づけられ、長期的展望をもつ計画的、効率的な行政運営の指針です。公約と事業の優先順位は当初予算編成に合わせて3年毎の実施計画と、公約を基本に各課で案を作成後、課長会議にはかり、最終的に私が決定します。公約の中には時間を要す課題もありますが、着実に進めたいと考えます。

**問** 事務事業評価結果を受けて改善策の検討は。

**村長** 決算以降に始める事務事業評価の方法では、次年度予算編成への反映が厳しく、総合戦略での目標値や、第5次総合計画の基本計画で定めた目標値に置き換え、事業の進行管理を審議する方式に変更を考えています。近年の行政事業は重要業績評価指標（KPI）の設定や、PⅡ計画・DⅡ実行・CⅡ点検・AⅡ改善のサイクルが求められています。

**問** 村有施設の有効活用は。

**村長** 4月に公共施設等総合管理計画の策定委託業者着手しました。8月頃から公共施設の総合的かつ計画的な管理基本方針、施設類型ごとの管理基本方針、公共施設更新費用の見込み額の算出、施設面積縮減等の方策など具体的に策定します。

**問** 事務事業量に配慮した職員配置は。

**村長** 「適正人員配置に関する調査」を毎年9月頃に、各課における当該年度の事務量、翌年度の想定事務量、嘱託・臨時職員の需要量について、現状と翌年度への要望を把握するため実施しています。

**問** 職員相互間での協力や応援体制は。

**村長** 4月から運用した人事評価制度は、お互いに知恵を出し協力し合う関係を醸成し、集団として力を発揮できる職場づくりを目標に、「協力・連携」について評価項目を設けました。個々の能力を結集し、組織の使命や目標を共有し、お互いに研鑽し協力して、さらに組織力を高めることが重要で

**問** 職員定数と現行の職員体制は。

**村長** 「定数条例」は115名で、現行職員数91名です。嘱託職員数は66名で、臨時職員は4月当初43名、その後健康診



目標達成に向けた評価と予算編成に

断に係る業務やプールの監視など、6月1日現在17名が加わりました。

【観光地経営計画の実施策や観光局の方向性について】

**問** 観光地経営計画の周知と取り組みは。

**村長** 「第5次総合計画」の観光分野の計画に位置付け、周知を予定しましたが、策定期間に差異が生じたため、概要版をつくり観光業者や住民に周知を図ります。計画全体の進

捗管理を行う「観光地経営会議」を7月に、事業を具体化し推進するプロジェクトチームは9月を目標に立ち上げたいと考えています。

**問** 局の組織体制、運営方法や財政力の強化は。

**村長** 観光地経営計画の「計画推進体制の構築と財源確保」を戦略に、日本版DMO（※）を前提とした推進体制を議論していたべくよう局にお願いしたいと考えます。

※日本版DMO（地域の「稼ぐ力」を引き出し、観光地域づくりの舵取り役）

## 問 白馬高校の学生寮の整備予定は

## 答 今後3学年利用を念頭に増改築を検討



津滝俊幸議員

【白馬高校への支援について】

**問** 白馬高校学校運営協議会が設置されたが、その役割は。

**村長** 県が設置するもので、委員は10名。地域住民、保護者、学識経験者、関係行政機関、学校長で構成。学校の運営に関する意見や具体的方針の承認、教職員の採用等の任命権者に意見を述べる事が出来るなど、法によって具体的な権限が与えられています。

**問** 白馬村・小谷村の今後の関わり方は。

**村長** 白馬高校の経営・運営に關する地域案を県教委へ提出し、国際観光学科が設置さ

れ存続が決定しました。このことにより「白馬高校の将来を考える会」は解散になり、今後は白馬・小谷両村による新しい組織を、新年度へ向けて立ち上げ、支援策を検討していきたいと考えています。

**問** 公営塾、学生寮、全国募集の現状と方針は。

**村長** 公営塾は5月時点で47人が利用しており、講師は3名体制で人員が大幅に増えたため、時間割制で運営している。学生寮は15名の入寮者があり、舎監1名、ハウスマスター2名が、生徒の日常生活管理や学習管理を行っている。本年度の全国募集は7月末日に体験入学、9月と10月に学校説明会を開催。パンフレットを作成し、ダイレクトメールや県外説明会などの広報活動をおこなっています。

**問** 寮の食事については。

**村長** 現在、ハウスマスターと賄い係の3名体制で行っており、今後は人数が増えるこ

とが想定されることから、外部委託も含め検討します。

【観光局と振興公社について】

**問** 観光局の組織体制と運営方針や財源は。

**村長** 28年度から分担金を減額が課題になっているが、29年度へ向けて、村からの負担金について新たな枠組みを検討する。観光の企画やマーケティングは、昨今複雑に進化しており、DMO化や組織改変、人材育成などが重要と考え取り組んでいきます。

**問** 29年度に観光局の会員を50軒増やす計画だが、具体策は。

**村長** 村民が一人丸となって取り組む白馬村の観光振興体制を理解してもらい、観光課や観光局役員や職員を中心に進めていきます。

**問** 観光局と振興公社の業務連携は。

**村長** 県外での物産関連のイベントへの共同参加や、塩の道祭り、夏祭りなどが具体的な取組事例。観光案内はそれぞれの立場で担ってもらっているが、村では新たな道の駅構想を進めたいと考えており、そんな中で振興公社と観光局の連携や組織の在り方について検討が必要と考えています。



白馬高校学生寮(写真上)と寮内の談話室(写真右)



# 問 「きこりの道」の現状と活用は

## 答 予算措置をしながら環境整備をする



太田正治議員

### 【里山観光について】

**問** グリーンシーズンの観光として東山に付けられた遊歩道については。

**村長** 昭和50年代にトレッキングの整備をし、峰方から堀之内、飯田、飯森、深空、蔵平に通じる4ルートの遊歩道があります。

**問** 4ルートの整備は、年に数回現地を踏査し、歩道の整備や修繕作業等を行っています。

**問** 近年ではトレイルランニングやマウンテンバイクの方の利用が多いと思うが、その際の整備は。

**村長** イベントを主催する人達が主体的にコースを整備していただいているケースもあります。引き続き近隣地域や利用者の方々に協力をいただき、必要な予算措置を講じながら、環境の整備を進めていきたいと考えています。

**問** ルートの中に私有地で展望のすばらしいところもあるが、借用し観光の拠点として活用する考えは。

**村長** 地域から利活用について要望が出されています。夢農場跡地は眺望も良好で「きこりの道」の起点でもありますので、東山一体の森林整備計画に含めながら、観光資源として活用につなげていきたいと考えています。

**【自転車のみちづくりについて】**

**問** 最近サイクリストの方々が多くなり、立ち寄りスポットともなる休憩所の整備や人材育成が必要と言われているが、どのような計画か。

**村長** 飲食店や商店、観光スポットの協力を得て、サイクリストが立ち寄りやすい休憩所の整備やモニターツアーを行い、自転車の速度に合わせた風景や地域の歴史・文化に触れ合えるようなツアー商品を企画し、来年行われるJR東日本の信州デイスティネーションキャンペーンにもつなげていきたいと考えています。また、休憩所や宿泊施設向けのセミナーの開催、簡単な修理をできるようなメカニック研修、里山ツアーガイドの養成を目的とした研修会、地元住民に自転車文化を醸成するための体験会なども企画します。

**問** 他地区で行われているような大会等を考えているのか。

**村長** 三市村広域連携、日本海広域観光連携と共に「自転車だつたら白馬」といわれる地域づくりを、観光局を中心に考えています。また、地域や団体等が行う大会やイベントを支援すると共に、観光局を中心にイベント等の開催について、さらに検討していきたいと考えています。

**【気象関連の機器設置について】**

**問** 村内の気象関連施設の設置場所と数量は。

**村長** 「地域気象観測システム」通称アメダスの有線口ポット気象計と有線口ポット積雪深計が役場の敷地内に、国土



旧嶺方スキー場より白馬三山を望む

に、観光局を中心にイベント等の開催について、さらに検討していきたいと考えています。

**問** 村内の気象関連施設の設置場所と数量は。

交通省と県の雨量計が合計6カ所設置されています。地震計は防災科学研究所が設置する強震観測網で役場敷地内に設置されており、テレビ等で報道される各市町村の情報となります。また、高感度地震観測網が瑞穂地区と三日市場地区の2カ所に設置されていて、地震の揺れを検知し、震源やマグニチュードという地震の模様を決定するのに活用されています。

## 問 障がい者の方への就労支援策は

## 答 今後いろいろ検討します



加藤亮輔議員

【障害者差別解消法について】

**問** 「障害者雇用促進等に関する法律」で民間企業は2・0％、地方公共団体で2・3％以上の雇用が義務付けられているが、村は現在、何人の方を雇用しているか。

**村長** 現在、1名の雇用。昨年、障がい者枠を設けて募集しましたが、残念ながら応募者がいませんでした。

**問** 長野県の各市町村の雇用状況を見ると、最高雇用率は大滝村で、職員数46人で障がい者3人雇用、雇用率6・52％だが、白馬村は1人の雇用で、67市町村中63番目の1・01％である。あまりにも障がい

者に冷たい雇用状況だが、このような状況を放置してきた原因は。また来年度の予定は。

**総務課長** 採用しなければいけないと考えています。採用について研究します。

**問** 来年度は3名程度雇用できるとは取り組むべき。

大町市は、1年間嘱託雇用して庁内でのいろんな仕事をチャレンジしながら、本人の希望の職種を見つけるチャレンジ制度。安曇野市は、仕事を見つげるための体験や訓練実習を行う就労移行支援事業所「豊科じゃんぶ」を設立。池田町では地域の事業所へ週1回、1時間職場体験させ自信を持ってもらう「ふれジョブいけだ」を支援して、一般就労への手助けをしている。村では今後どのような制度を作って就労支援をしていく予定か。

**村長** 今後いろいろ検討します。

【地域公共交通について】

**問** 車を運転できない17歳以下の子ども、免許証を

持っていない成人、高齢者、障がい者の方々、それに公共交通で訪れた観光客を含めれば、村内在住移動弱者は相当な数に上る。村は、今後も村民の移動手段を自家用車中心の村づくりを続けるのか。公共交通整備に軸足を移行すべきと考えるが、見解は。

**村長** 村の地域公共交通については、自家用車に大きく依存し、公共交通の利用は低迷しているが、運転しない方や観光客のために平成20年3月に、白馬村地域公共交通会議を設置し、保育園の遠距離園児のための「園児送迎乗合タクシー」、「デマンド型乗合タクシー」、観光客の地域モビリティとなる「定時定路線シャトルバス」の運行事業を行っています。

【子育て支援策について】

**問** ひとり親の子育て世帯への経済的支援策の内容は。

**村長** 生活の安定と自立を助け、子どもの福祉の増進を図ることを目的として、児童



福祉車両の利用拡大を検討すべきでは

扶養手当の支給。保育料は、村民税が非課税の場合は無料に、第3階層中、ひとり親世帯以外に比べ月額10000円の軽減。

また、年収約360万円未満相当は、第1子の場合半額、第2子以降は無料。福祉医療制度については、窓口で支払った一部負担金から1レセプトあたり

5000円を控除した額を、3か月後に支給しています。

**問** ひとり親世帯が74世帯あるが、いま説明された支援策をバラバラに知らせるのでなく、冊子にまとめて保護者に配布しては。

**健康福祉課長** 検討させていただきます。



# 問 観光局長から事務局長になった理由は

# 答 局の最高責任者と思われることが多い



太田伸子議員

## 【観光局人事について】

**問** 観光局長から観光局事務局長に変更になった時期と経緯は。

**副村長** 前任の局長が2年間の任期を迎えることから、1月14日の観光局理事会で、事務局長を募集する方針を決めました。対外的に「局長」という職名が、観光局の最高責任者と捉えられることが多かったことから、理事会での協議を経て「事務局長」へ職名を改めました。

**問** 事務局長の職務分掌は。

**副村長** 観光誘致のための事業企画、立案、実施。行政や各種団体との連携調整と事務局運営です。

**問** 公募にあたり、前任の局長も応募している。継続の意欲があったということと考えるが話し合いは行われなかったのか。

**副村長** 任期が終わるということで、話し合いはしていません。

**問** 若い事務局長が選任されたが、2年の任期を迎えた時も今回のように公募するの

**副村長** 今後の2年間の観光の成果を見て評価し、決定します。

## 【村長の村政運営について】

**問** 総合計画策定業務を契約しているコンサルタントの「スタジオ」の契約内容、契約期日、契約金額は。

**村長** 総合計画策定に関する調整・計画・策定の支援を委託しており、期日は平成27年8月20日から28年3月31日まで、契約金額は344万9300円です。

**問** いまだ総合計画は基本構想のみで、策定されていないが、「スタジオ」とは再契約したのか。

**総務課長** 4月より契約しました。

**問** 白馬高校支援事業の公営塾の指導をいただいている先生方は、地域おこし協力隊である。地域おこし協力隊は3年の任期だが、継続した指導についての考えは。

**村長** 隊員には活動期間終了後も村に定住し、継続して指導していただきたいと思っています。

**問** 白馬高校寮の現状について、村長の考えは。

**村長** 管理運営について想定しきれなかった部分も多く、今回補正を上げました。3学年がそろそろ平成30年度の入学生までの入居は、施設を改造しなければ入居困難な状態であり、建築士に改築の方法等の調査を依頼しています。

**問** 白馬高校支援事業の加速化交付金の申請が、全額不採択になったが、その検証は。

**村長** 1次募集では採択されませんでしたでしたが、2次募集の事前相談で内閣府からの指導では、高校の入学者を増やすだけでは地方創生とはいえず、卒業生が村内で就職や起業する等、雇用増や人口減少に歯止めをかけるような計画が不可欠といわれています。



総合計画策定に向けてアイデアキャラバン開催

**問** ふるさと納税事業では、昨年9月に返礼品について、コメの担い手の方たちと懇談があり、梱包する袋や箱・発送は村で一括することになったと聞いていたが、未だ実現していない理由は。

**村長** 意見交換を行いましたがいずれも「決定事項」ではありません。意見交換は1回だけで終わるものでなく、近いうちに再度、コメ返礼品生産者の意見を聞かせていただきたいと思います。

# 問 民泊の実態把握と衛生管理等の指導は

# 答 県と共同で実態把握や指導に努めたい



篠崎久美子議員

## 【民泊について】

**問** 旅館業法等適用外の、いわゆる民泊の実態把握と村内状況は。

**村長** 村の実態把握は、インターネットサイトに留まっている。現在のサイト検索では村内で約70件程度だが、実態はこれ以上と推定。

**問** 保健所等の関係各機関等との情報交換や連携状況は。

**村長** 実態把握と指導のため、2月に大町保健所食品衛生課と情報交換し、今後の対応を話し合った。また、北安曇地方事務所観光建築課に保健所や村との共同実態調査への取り組みについて協力要請を行っている。

た。県も実態調査への意向も強く、民泊紹介サイトの情報と旅館業法の許可施設との照合、現地調査を進めていく方針で、3月に現地調査をしている。県と共同でさらに実態把握に努めていきたい。

**問** 軽井沢町などのように、条例で民泊を禁止することも可能になったが、村は民泊をどう捉えているか、また、今後の指導や管理については。

**村長** 国の「民泊サービスのあり方に関する検討会」は28年度中に結論を出す方針で、急増する外国人観光客への宿泊対応や、空き家の有効活用などの一方で、安全性の確保、近隣住民トラブル防止、仲介業者への新たな規制などの必要性が論点となっており、村の方向性としては国の動向に注視していきたい。

## 【障害者差別解消法施行関連】

**問** 庁内のガイドライン作製や職員研修などは。

**村長** 4月に職員対応要領を策定し適切な対応の基本的事項を定め、7月に職員研修を実施予定。県の手話言語条例では県と市町村の連携がうたわれ、村では本年度、手話通訳等の資格取得の補助金を創設した。

**問** 対象者からの相談体制の整備は。

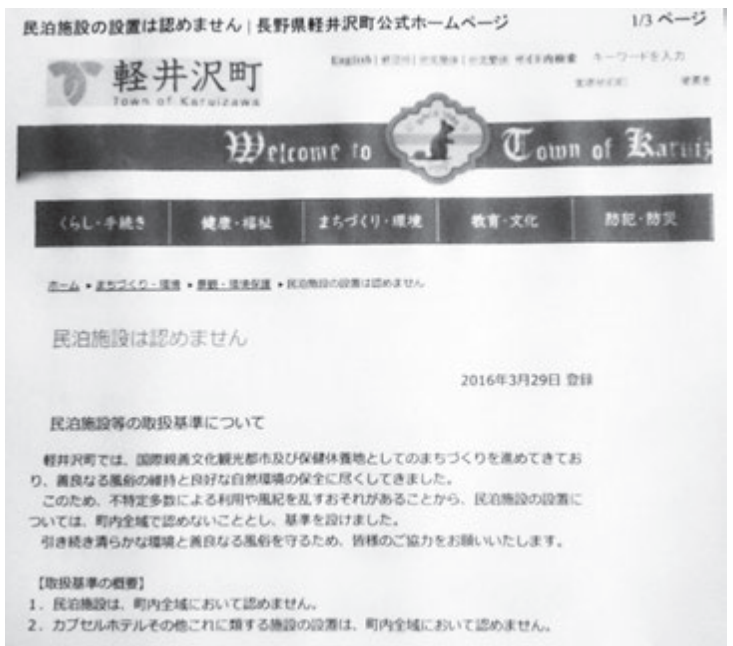
**村長** 健康福祉課が相談窓口。大北地区で障害者差別解消支援地域協議会設置への検討もしていく。状況に応じて県との連携も想定している。

**問** 今年度、専門職の社会福祉士を採用したが具体的業務は。

**村長** 特に障がい者のケースワーカー業務を行う。現在は視覚・聴覚に障がいのある方への訪問をしており、今後、相談業務にあたる。

## 【行財政運営について】

**問** 予算の基本的事項で「徹底した行財政改革…事業



「軽井沢町では、民泊を町内全域で禁止に」(公式ホームページより)

の有効性等を徹底的に検証し真に必要な経費を精査し、貴重な税金を無駄にしないという強い意識のもとに将来に亘り健全な財政運営が図れるよう創意工夫を行う」とあるが、具体的な取り組みは。

**村長** 行政運営は税金で賄われていることを強く意識し正確な予算とすることを、事業の必要性、事務費削減、普通建設事業の計画的繰越などを心掛け、今後も経費削減に努力する。

**問** 補助金や各種負担金の見直しは。

**村長** 現在、固定資産台帳整備を進めており8月頃から管理計画に着手予定。公会計制度は安価で利用しやすいシステムを検討、来年度導入予定。

**問** 行財政運営に重要な公会計制度導入の進捗状況は。

**村長** 平成17年度に策定した「行政改革大綱集中改革プラン」に基づいて取り組んでいる。



# 朝日町・白馬村 議会議員連絡協議会を開催

富山県朝日町議会との懇談会が、5月13日に白馬村役場で開催されました。この協議会は、新川広域圏と白馬を結ぶ、高規格道路建設構想の実現に向けて朝日町より提唱されこれを受けて、平成6年3月に、地方行政の円滑な運営と健全な発展を期することを目的として、「朝日町・白馬村議会議員連絡協議会」を設立し、毎年会場を交互に開催しており、本年は第22回の開催となりました。

当日は、今冬シーズンの入込状況、震災復興状況、高校再編に伴う白馬高校全国募集、日本海・関東首都圏連絡道路建設構想(新川広域圏と白馬を結ぶ)等、多岐にわたり意見交換が行われました。



「山とスキーの総合資料館」で丸山館長の説明を熱心に聞く朝日町議員

## 6月定例議会 現場視察

### 【白馬高校 学生寮「しろまパルハウス」】

白馬高校支援事業の全国募集に伴い完備された、学生寮「しろまパルハウス」は、瑞穂地区にある宿泊施設を村が買い取り、寮として整備し、現在15人が利用している。今後3学年が利用することから、次年度へ向けて増改築が予定されている。



「仲間」と云う意味の「パル」。この地で学ぶことを決めた、遠くからの学生達の仲間作りの場(しろまパルハウス)

### 【学校給食共同調理場建設予定候補地】

学校給食共同調理場建設委員会で協議されている、同施設の建設予定候補地2カ所を視察した。

### 【震災対応公営住宅建設現場】

本年11月末の竣工を予定している震災対応公営住宅建設現場の工事は、それぞれの工区で地盤補強工事や、基礎工事が始まっている。



完成が待ち遠しい復興住宅 三日市場現場



### 表紙の写真説明

今年、白馬中学校男子バレー部は、春季大会及び郡球技大会で優勝。中信地区大会では24校中5位という成績で見事念願を果たし、県大会へ駒を進めました。1979年(昭和54年)以来37年ぶりではないかと言われていますが、当時の選手は県大会の経験が無いとのことで、今回が初めての出場かもしれません(写真は保護者から提供して頂きました)。

ご意見を  
お寄せください。

85-0725(直通)  
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える  
(6月定例会の傍聴者延べ35人)

## 議会傍聴においでください

次の定例会は9月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

## 夢、私たちに。

# わたしのひとこと



### 結婚した～！！

白馬町 酒井 拓也

白馬に住んで早くも11年が経ちました。住むきっかけは全日本スキー技術選手権に出たことでした。最初に出た大会が、八方尾根スキー場だったため、翌年から冬は八方尾根スキースクール、夏は建築板金業で働かせてもらってきました。最初は助けてくれた人もたくさんいましたが、やはり村独特のよそ者だからというアウェー感を感じることも少なくありませんでした。今では知り合いも増え、多くの人に助けられ、優しくして頂いています。

今年、7月には白馬村の方と結婚することも出来ました！今までは、自分のことで精一杯でしたが、これからは村が良くなるように少しでも協力していければと思っています。

最後に地元の方にお願ひがあります。白馬は地元の方の力はもちろん、地元以外の方の力もすごく大事だと思うので、よそから来たばかりの方にやさしくしてあげて下さい。



### 日本一美しい散歩道

和田野 津野 隆之

私の「日本一美しい散歩道」、それは松川沿いの工事用道路。

白馬三山から鹿島槍まで眺められ、春にはニセアカシアの白い花の香りを楽しむ。「ここに桜並木が欲しいね」と友人に言えば、毎年10本位ずつ大山桜を植えてくれた。白馬村も「日本桜の会」から寄贈された桜約200本を植えてくれた。100年後の桜並木が楽しみだ。

私は花の絵を描いたり教えたりしている。この道沿いにも珍しい草花や蝶がいる。興味深く観察している。フデリンドウ、ピンクの野バラ、シナノナデシコ、カセンソウ、コマツナギ、ヌルデの紅葉、又これらを食草とするヒメシジミやベニシジミという、とても美しく小さな蝶。大切な白馬の住民だ。

往復約2kmを妻と歩く。対岸にも「日本一美しい散歩道」が出来るといいたいと言いながら・・・歩く。皆さんも一度歩いてみて下さい。



### 白馬で暮らすこと

白馬町 中西 拓

スキーがしたくて大阪から白馬に移住してきて、多くの方の応援で念願のオリンピックに出場することができました。白馬町に引っ越してきたころは分からないことばかりでしたが、皆さんにいろいろと教えていただいたり、お祭りや消防団で同世代の仲間ができて、充実した生活を送っています。さのさかスキー場に勤めていたあいだにも、多くの方にお世話になりました。

26年の神城断層地震では1か月間入浴ができなくなりましたが、周囲の皆さんに助けていただき、乗り切ることができました。

こうして振り返ってみると、人と人のつながりが、私の暮らしを豊かにしてくれているのだと感じます。この村で暮らせていることは幸せであり、誇りでもあります。これまでの経験や出会えた方々に感謝しながら、白馬ならではの生活を送りたいと思います。

## 編集後記

7月10日の参議院選挙も終わり、暑い夏を迎えました。

今年から8月11日を《山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日》として、「山の日」に制定。白馬村は山と共存してきた村でもあり、豊かで美しい自然環境を守る、楽しい安全な登山を提供するなど、特別な祝日です。

また6日、9日は広島、長崎平和記念日、15日は終戦記念日です。あの「堪へ難キヲ堪へ忍ヒ難キヲ忍ヒ」の一節で戦争は終わりましたが、日本人戦争犠牲者は310万人と記録されています。

山を親しむためにも観光を楽しむためにも、戦後を続ける政治を追求したい。

(加藤 亮輔)

### 議会報調査編集特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 議長   | 北澤 禎二郎 |
| 委員長  | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 松本 喜美人 |
| 委員   | 加藤 亮輔  |
| 委員   | 津滝 俊幸  |
| 委員   | 太田 正治  |
| 委員   | 太田 伸子  |
| 委員   | 篠崎 久美子 |